

令和4年度（2022年度）日本肺高血圧・肺循環学会第3回理事会議事録

日時：2022年7月1日 16:00-18:00

場所：京王プラザホテル（新宿）4階 みずき

出席理事：渡邊 裕司、桑名 正隆、福本 義弘、江本 憲昭、荻野 均、片岡 雅晴、小垣 滋豊、近藤 康博、田中 住明、田村 雄一、辻野 一三、土井 庄三郎、福田 恵一、室原 豊明、安岡 秀剛、安田 聡、山岸 敬幸（17名）

オブザーバー：白井 悠一郎（1名）

欠席理事：伊藤 浩、大郷 剛、鈴木 拓児、伊達 洋至（4名）

事前配布資料

令和4年度第1回日本肺高血圧・肺循環学会議事録

令和4年度第2回日本肺高血圧・肺循環学会議事録

和4年度第3回日本肺高血圧・肺循環学会議事次第

会員推移について

2021年度会計報告について

新評議員審議について

日本肺高血圧・肺循環学会 役員名簿

1. 開会

2. 前回議事録の確認

4月8日に開催された第1回の理事会及び5月6日に開催された第2回の理事会の議事録の内容について、追記・修正事項はないことを確認した。

3. 報告事項

①**第7回学術集会の準備状況について** 会長 桑名正隆理事より報告

日時：2022年7月2日（土）3日（日） 会場：京王プラザホテル（新宿）

完全対面形式で開催される。

事前登録が470名以上となった。

学会プログラムについては、副会長の近藤先生、田村先生及びプログラム委員の先生方に非常に幅広い領域の関連のテーマで多くのセッションを予定している。

②**第8回学術集会の準備状況について** 会長：江本憲昭理事より報告

日時：2023年6月3日（土）4日（日） 会場：神戸国際会議場

副会長の呼吸器内科の田邊先生、循環器内科の新家先生及び膠原病・リウマチの吉藤先生と準備を進めている。

プログラム委員の先生方の各専門分野である呼吸器、循環器、膠原病・リウマチに加えて小児肺循環研究会の方から3名の先生に入らせていただきプログラムを現在作成している。

③第9回学術集会の準備状況について 会長：福本義弘理事より報告

日時：2024年6月1日（土）2日（日）

会場は久留米シティプラザで対面での開催に向けて準備を進めている。
副会長の先生は、領域が別々の方がよいと伺ったので、循環器内科以外の領域で今後お願いしたいと思っている。

④会員推移について 総務担当の桑名正隆理事より報告

会員内訳（2022年6月現在）

	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
会員（医師）	544	544	496	432	411	357	322
会員（医師以外）	52	52	43	30	25	19	12
休会	6	5	4	5	4	3	—
功労会員	11	—	—	—	—	—	—
在籍合計	613	601	543	467	440	379	334

- ・2016年以降、退会員数を入会員数が上まわっており、コロナ禍に関わらず、着実に会員数は増加している。一方で、今回の学術集会開催にあたり当然会員だと思われる先生方が非会員であることが判明した。
- ・非会員の先生方についてはオブザーバー参加の事務局長白井悠一郎先生より説明があり、今後学会からも入会を促すこととなった。
- ・学術集会事務局長が座長、講演者の会員・非会員リストを作成し、非会員の方には学会から入会をしていただけるよう手紙を出すなどの働きかけをすることとした。

⑤会計報告について

収入

年間費 5,054,000 円

前年度繰越金 46,733,178 円（故八巻重雄先生のご寄付残額 6,000,000 円を含む）

第6回学術会議余剰金 673,135 円

バーナー広告 100,000 円

利息 366 円

支出

事務局経費 1,299,431 円
八巻賞 2021 年賞金 1,000,000 円
Jamieson CTEPH award 300,000 円
成人 PPS 調査事業 133,647 円
ガイドラインアプリ作成 1,708,000 円
次年度繰越金 48,129,601 円
(故八巻重雄先生のご寄付残額 5,000,000 円を含む)

- ・第 5 回の余剰金を Jamieson CTEPH award の予算として確保し継続性を持たせるために、次年度繰越金の中から Jamieson CTEPH award に充てる分を明確に区別し計上するのが望ましい。(荻野均理事 第 5 回会長)
- ・第 5 回学術会議余剰金は Jamieson CTEPH award 準備金として今後記載をする。また、過去には会計監査がなされていなかったが、今後は会計士を入れるなどして監査体制を整えて行きたい。
これに関しては財務担当福本義弘理事にお願いし会計報告をするようにしたい。

2021 年度 日本肺高血圧・肺循環学会 「学会奨励賞」会計報告

収入

運営資金 4,300,000 円

支出

学会奨励賞(臨床研究賞) 3 名賞金 1,500,000 円
学会奨励賞(基礎研究賞) 1 名賞金 500,000 円
ヤンセンファーマへ返金(基礎研究賞 2 名分) 1,000,000 円
運営費(選考委員会運営費、通信費、Web 管理費) 1,300,000 円

- ・学会奨励賞(臨床研究賞) が 3 名、学会奨励賞(基礎研究賞) が 1 名だったため基礎研究賞 2 名分(計 100 万円) はヤンセンファーマへ返金した。
- ・学会奨励賞については、個人の口座に振り込まれているが、「研究奨励金」ということで、肺高血圧診療の発展のため引き続き今後の研究に役立てていただけるよう、所属する機関に入れた方がよいという意見があった。
また所属機関へ振込をする場合は、機関で徴収される間接経費を免除してもらい、全額を研究費に回すことができるよう対応していただくため、学会が機関に対し申請書を用意する。
- ・研究費としては一人 50 万から、基礎と臨床を分けずに 3 名にして 100 万円にしてみてもどうかという意見があった。
八巻賞は学会での最高賞に相当するもので、それよりも若手に対する学会賞の方が高額なのはいかがなものかというご意見が以前あり、50 万円に設定された経緯がある。

- ・現段階では論文と業績といった「成果」を評価しており、助成金のような今後の研究計画に対するものではない。
これまでの成果に対するものか将来の計画に対するものかは大きな違いがあるが、これは寄附をしていただく製薬企業の意向を確認すべきである。
- ・賞の位置付け、名称、金額等、全体を見直す必要があり、いくつかある賞の対象や目的について引き続き課題として次回の理事会で話し合うこととする。
また、全ての受賞者が学術集会において発表する必要はないという意見もあった。

⑥委員会担当理事 委員について

- ・各委員会の担当理事の先生に、委員の先生を選出していただいた。
- ・人数については、バランスをみて今後調整をしていただく必要もある。また、一人でご担当していただく委員会については、必要に応じて委員を増やしていただく。

4.審議事項

① 2025 年度学術集会の会長について

- ・会長候補者として田邊信宏先生（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター）にお願いすることで全会一致した。
渡邊理事長から田邊先生にお願いし、その結果は後に理事の先生方に報告する事とする。
（理事会後、理事長が田邊信宏先生の意向を確認し、田邊先生から会長を受諾するとの御返事をいただいた。この事を7月3日に開催の評議員会にてご紹介した。）
- ・田邊先生には次回より会長予定者として理事会に参加していただく事とする。

② 各賞選考委員について

- ・各賞委員会の委員の方々に、賞のありかた、選考委員の人数も含めて、改めてご検討いただきたい。

③ 新規評議員について

- ・山下淳先生（東京医科大学 循環器内科学分野）が新規評議員として承認された。
- ・福田先生ご推薦の防衛医大の足立先生については、履歴書が学会事務局に届いていないため、お名前が出たことを今回の理事会で確認し、履歴書を提出して頂いた段階で、メ

ール審議を持って決定とする。今後の新規評議員については、年に2回行われる理事会にて審議することとする。

- ・第13条の2「評議員は、正会員の中より選出され、理事会による推薦により選出される。」とあるが、「理事の推薦のもと理事会にて審議する。」と文章を変更する事とする。
- ・新規評議員は理事の推薦が必要（推薦状などの提出は必要ない。）

④ ガイドライン出版について

- ・出版費用はPDF作成40万、冊子印刷+送料30万、合計70万。
- ・学会として出版は維持していくべきであるとの認識で一致した。
- ・スポンサーがない場合は、学会が費用を負担し出版する方向で検討することを、巽浩一郎先生にご相談する。

⑤ 監事について

- ・会則第19条の3「役員は選任の年の事業年度の開始日において65歳以下でなくてはならない。」の後に「なお、監事については70歳以下とする。」を加えることとする。
瀧原圭子先生（大阪大）に監事をお引き受けいただけるかお伺いする。後に必要であればもう一名監事を加えることとする。

5. その他

- ・学会の収入として、学会が著作権を持っている出版物を製薬会社が転載する場合の転載許諾、転載利用許諾料の設定など、総務委員会の中で議題にして決めて行く必要がある。

6. 閉会